

武豊町まちづくり会議 ニュース

みなさんこんにちは! 徐々に暖かい日が増えてきましたが、いかがお過ごしでしょうか?

武豊町では、新しい総合計画の策定に向け、住民の皆さんと一緒にこれから 10 年間のまちづくりについて話し合い、そして考える『まちづくり会議』を開催しています。

さる2月15日(土)に武豊町役場2階第2~4会議室にて第4回まちづくり会議~重点プロジェクトを考えよう!~を開催しました。



第4回 まちづくり会議「重点プロジェクトを考えよう!」を開催

■日 時:令和2年2月15日(土曜日)10:00~12:00

■会 場:武豊町役場 2階 第2~4会議室

■参加者:28名 ■プログラム:



10:00 ① 開 会

• 本日のプログラムの説明

10:05 ② 前回の振り返り

・第3回まちづくり会議の振り返り

10:15 ③ 4つの重点プロジェクトの紹介

・「①子どもの学びプロジェクト」「②移住・交流促進プロジェクト」「③起業・雇用創出、 産業振興に向けた新たな特産品開発プロジェクト」「④シニア活躍プロジェクト」の紹介

10:15 ④ グループワーク~重点プロジェクトの検討

11:10 ⑤ 発表&コメント

11:35 ⑥ コメントを踏まえたグループワーク

11:45 ⑦ 改善点などの発表

11:55 ⑧ まとめ

1) 開 会

最初に、町企画政策課より、本日の2時間のプログラムについて説明を行いました。

② 前回の振り返り

町企画政策課より、「武豊町まちづくり会議 ニュース 第3号」で前回の内容を振り返りながら、検討した「学び」「健康・福祉」「産業・交流」「まちづくり・地域経営」の4つのテーマの中で重要な取組み内容を紹介しました。

③ 4つの重点プロジェクトの紹介

ここからは一般社団法人地域問題研究所のスタッフに進行をバトンタッチしました。

これまで第2回、第3回のまちづくり会議で「分野1.都市環境」、「分野2.子ども子育て」「分野3. 学び」「分野4.健康・福祉」、「分野5.安全・安心」「分野6.産業・交流」「分野7.環境」「分野8.まちづくり・地域経営」の8つの分野について検討しましたが、時間が足りずに十分に議論を深めることができなかったことから、さらに深堀するため、これまでの会議で関心の高かった内容をもとに、4つのプロジェクトとして整理し、本日はこの4つのプロジェクトでグループに分かれて検討することを説明し、それぞれで深めてほしい内容などについて紹介しました。

4つの重点プロジェクトの紹介

プロジェクト1 子どもの学びプロジェクト

- ・地域連携による子どもがチャレンジできる場づくり
- 子どもまちづくり会議
- 15年間で子どもを育てるシームレス教育 など

プロジェクト2 移住・交流促進プロジェクト

- 移住促進に向けた武豊町の魅力をもっと町外へアピール(外部への情報発信)
- 子どもたちが食、遊び、スポーツなどで楽しめる場(屋内・屋外)づくり など

プロジェクト3 起業・雇用創出、産業振興に向けた新たな特産品開発プロジェクト

- 新たな農産物や特産品の開発 商品化
- ・みそ・たまりなどを使った新たな土産物コンテストの実施 など

プロジェクト4 シニア活躍プロジェクト

- ・高齢者の働き場、福祉体験や学びの場を通じた介護士、ヘルパーの福祉人材の確保・育成
- やること付き高齢者住宅の整備
- ・地域で支え合えるための顔の見える関係づくり
- ・ 地域のつながりによる防犯力、防災力の向上
- ・地域住民が運営するサロンやカフェによる賑わいづくり など



④ グループワーク ~重点プロジェクトの検討~

参加者は4つのグループに分かれ、それぞれのプロジェクトについて、具体的にどのような内容で深めて議論していくかを決めながら、これまでよりも具体的に、どこで、どのような取組みを行うのか?自分達でできることは何か?行政から必要な支援は何か?なども考えながら、プロジェクトを考えていただきました。

プロジェクト1 子どもの学びプロジェクト

- ◆生の文化・芸術に触れる体験イベントの実 施
- ◆子ども主体のものづくり、職業体験イベント(ミニミュンヘン等)の実施
- ◆子どもが学び、考える子どもまちづくり会 議(まちづくり学習)の開催
- ◆子どもによる、子どものための子ども食堂 の実施
- ◆地域、企業等も参加した学校運営
- ◆学校内でのフリースクールの設置

など

プロジェクト2 移住・交流促進プロジェクト

- ◆情報発信の強化(情報の一元化、SNS、 マスコミの活用に向けた情報センター機能 の構築)
- ◆移住促進に向けた空き家・空き地情報や地 域情報の発信
- ◆移住体験ツアーの実施
- ◆空き家・空き室等の活用と、仕事の場を確保したお試し居住の実施
- ◆子ども、中年層、高齢者層が一緒に暮らす 住宅づくり

など



いろんなアイデアが でてきたよ!!

プロジェクト3 起業・雇用創出、産業振興に向けた 新たな特産品開発プロジェクト

- ◆武豊町の特産物掘り起こし調査の実施
- ◆町民全体でお店や商品の消費(実際に食べてみる)とPR(SNS等による口コミ)
- ◆みそ・たまりなどの特産品を使った料理番 組の制作とユーチューブでの発信
- ◆事業者の開発意欲を高めるためのヒアリン グ調査の実施
- ◆行政、商工会、JAが総合的に支援する儲かる就農モデルづくり
- ◆特産品開発や観光に取り組む組織づくり (異業種集団づくり)と開発リーダーの育 成 など

プロジェクト4 シニア活躍プロジェクト

「食べて、飲んで、しゃべろう!」

- ◆食事ができるサロン・カフェ+酒の設置
 - ・地域住民が日替わり等で料理提供
 - ・子ども、外国人など、誰でも参加できる サロン・カフェ
 - ・夜は少しディープなサロン(酒、麻雀、 社交場・・・)
 - ・企業や住民に呼びかけて食材提供を依頼
 - ・食事指導などの健康教室も実施
 - ・運営は住民グループ(老人会、自治会など)で実施
 - ・コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの 配置 など

⑤ 発表&コメント

各グループで話し合った重点プロジェクトの内容を 各グループから発表していただきました。

また、その他のグループのメンバーは、発表を聞き 賛同する意見があれば青色のポストイットカードに、 改善した方が良い意見や質問・疑問などがあれば赤色 のポストイットカードに記入し、グループまとめた模 造紙に貼っていただきました。



⑥ コメントを踏まえたグループワーク

他のメンバーから出された賛同意見、改善意見などのコメントをグループで確認しながら、どのようにプロジェクトを改善したら良いのかを考えていただきました。

なお、本来ならば、改善点などを再度、発表していただく予定でしたが、予定の時間を大幅に過ぎて しまったため、意見を確認して終了となりました。

⑦ まとめ・次回の案内

次回は、これまでのまちづくり会議の意見なども踏まえて、役場庁内で検討を進めている総合計画 (基本構想・基本計画)について、素案を説明しながら、意見をいただくような会議にしたいこと事務 局(企画政策課)から伝え、2時間以上にわたる第4回まちづくり会議を終了しました。

- ◆次回は、<u>4月18日(土曜日)午前10時</u>から武豊町役場2階第2~4会議室で開催します。
- ◆第6次武豊町総合計画(基本構想・基本計画)の案を説明しながら、関心のある テーマについて意見をいただくことを検討していきます!

次回もみんなに会えるのを 楽しみにしているよ!!



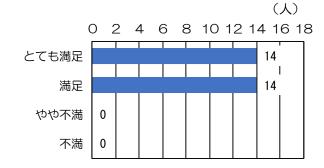
【問い合せ】武豊町役場 企画政策課 担当:森田・福谷

TEL 0569-72-1111 (内線512) FAX 0569-72-1115

E-mail kikaku@town.taketoyo.lg.jp

Q1 本日のまちづくり会議の満足度は?

まちづくり会議の満足度は「とても満足」が14名、「満足」が14名で、全員が概ね満足する回答になっています。



≪満足度を評価した理由≫

【とても満足と回答した方の理由】

- ・活発な意見交換ができた。他のグループから指摘されて、議論が深まっていないことがよくわかって良かった。
- ・建設的な意見が多く、良い刺激となった。
- 一つのテーマを掘り下げて話すことができた。
- ・深く話ができ、多くの意見が聞けた。
- 全くの専門外のテーブルで議論に参加したが、多様な意見が出てとても勉強になった。
- 自分の中で意見がまとまらずモヤモヤしていたが、会議が進むにつれ、密な話し合いになる良かった。身になった。
- かなり具体的で実のある話ができた。
- 具体的な話ができた。
- ・皆さんからの意見でさらに具体的な案が出てきた。
- ・今までの会議の中で一番深堀することができた会議だった。様々なテーマにより、もっと話し合いたい。
- 有意義な意見交換ができた。

【満足と回答した方の理由】

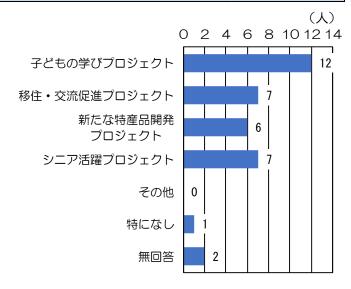
- 各グループの話し合いの内容が多面的に話し合われた。もう少し深められたら良かった。
- もっともっと色々な話がしたいと思った。深堀りももっとしたいし、もっと色々な意見を 出し合いたい。
- 新しい発想が聞け、職員として住民として武豊の良さを再確認したいと思えた。(もう少し時間があると良いが)
- 時間が短い(もう少し時間がほしかった)
- 時間が短い感じがする。お昼ごはんを食べても。短いと頭から離れていくような。
- ・ 他者の意見や情報を聞くことができた。
- ・ 具体化が大変だと思った。
- 現在の課題が見えてきたので。
- ・沢山の意見を聞き、気づく点が沢山あった。

Q2 本日の会議で「学んだこと」や「印象に残ったこと」は?

- 沢山のアイデアを持つ人がいたことが良かった。
- 今の状況が少しわかりました。知らないこともまだまだ多いので、自分も積極的に知っていこうと思った。
- お酒付きサロン
- •10年後を見通しながら、今後の事業について深めることができたと思う。
- 色々な方々の意見は勉強になる。
- 行政の情報発信力について、もっと勉強し、努力しなくてはと思った。
- ・情報発信が弱点
- 情報について発信・内容を絞って議論したい。考えとしてはみんな同じと感じた。
- 短いから頭に入らないこと
- ・それぞれの思いや考え、意見が聞けて良かった。
- ・意見は沢山出るが、誰が、どう行っていくかが難しい。
- ・具体のプロジェクトを検討するには短時間過ぎた。1~2回じっくりやりたい内容
- 早期に専門家やリーダーの養成が必要だと感じた。
- 食中毒はボランティア保険で対応可能とのことを知った。
- •子どもの学びについて、自己肯定感を作っていくことは大切だと改めて思った。生命を大事 にできる人間に育ってほしいと思った。
- ・魅力の発信や幅広い視点からの多くの意見
- 命の教育、地域文化祭
- この話し合いが今後どのように具現していくのが楽しみだ。
- ・特産品に対する意識の違い(食べるものだけが特産品でない)。専門職員、PRのプロをリーダーとした組織づくりから始めてみるのも大事か。
- ・皆さんが色々な思いを持っていることに感銘を受けた。
- 住民自らの意識改革が必要か。参加型会議
- ・武豊町の弱点や弱点についてどうしていくかを話せたのは良かった。

Q3 重点プロジェクトの中で、ご自身も関わっていきたいプロジェクトは?

重点プロジェクトの中で関わっていきたいプロジェクトは、「子どもの学びプロジェクト」が12名、「移住・交流促進プロジェクト」が7名、「新たな特産品開発プロジェクト」が6名、「シニア活躍プロジェクトが7名となっています。



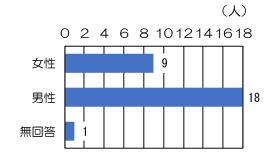
Q4 今後のまちづくりへのご提案!

- これまでの話し合いから、「すみやすい」まちをどう考えるかを整理してはどうだろうか。
- 希望者負担の有償でも良いので、成功自治体への見学を実施してほしい。時間の制約(個人的にはもう少し長くても良い)
- ・地域、学校、保育園、行政などがどう関わるのか、難しいけどより深めていかないと思った。
- 今日のプロジェクトで出た意見を形にできると良い。
- 行政のニーズと住民のニーズを整理して先に進めると良いかもしれない。
- 全てがつながる仕組みが作れるのではないかと感じた。
- 早期に魅力的な特産品の開発が必要。
- ・広く地域交流に繋がれば。
- ・とにかく地域交流が大切だと思う。
- この会議の中で出た内容が町の施策に反映されるように努力してほしい。
- 良い意見も多かったので、大変だとは思うが、ぜひ有効活用できるように取り組んでください。
- 大学や企業と関わった行事等を行いたい。
- take to you を使ってください(笑)
- ・担当課の人に直接聞いてほしい。
- ・せっかくのテーマだったので、行政の担当課の職員がいてほしかった。
- 時間が短い。
- 時間内に終了できるようにしていただきたい。

Q5 回答者の属性

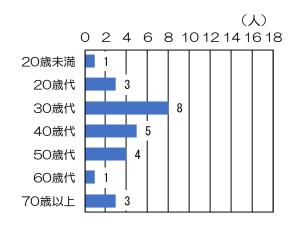
【性別】

回答者の性別は「女性」が9名、「男性」が18名となっています。



【年齢】

回答者の年齢は「30歳代」が8名で最も多く、次いで「40歳代」が5名、「50歳代」が4名と続いており、20歳未満から70歳以上と幅広い年齢の参加になっています。



第4回 武豊町まちづくり会議 各プロジェクトのまとめ

≪プロジェクト1 子どもの学びプロジェクト≫

項目	小見出し	取組み内容	住民でできること	支援が必要なこと	備考
	①子どもまち づくり会社	子どもまちづくり会社(参加することで何かメリットがあるといいかな)	ロコミ・SNSなど で拡大	やりたいことの実 現に向けた支援。 何ができるのか。	夏休みの宿題支援で 参加メリットを!
地域連携~子どもチャレンジプ		幅広い文化に触れる機 会の提供(体験イベント)	地域の団体さん への声掛け、団 体の発足	場の提供、宣伝	●音楽のアウトリーチは、小学4年生を対象に行っているが、それを面的に展開するために、例えば、給食の時間に保護者を招いた音楽会を開催することが考えられる。 ●学校文化祭の地域文化祭化
	②イベント企 画	生の文化・芸術の紹介・ 体験を(保・小・中・高)年 齢に応じてアウトリーチ	情報の提供	提供 資金面での支援	●英国などで行われている演劇WSはロールプレイになるから、他の人物の立場から物事を考える体験としてはGood! ●0歳~中学校までシームレスで、ステップアップしていくような音楽等の文化体験! ●ふるさと納税や企業の費用で運営費をまかなってはどうか?
ロジェクト	③ものづくり体 験(木工、サ イエンスラ ボ)	体験的な学習の場、もの づくり~木工ほか(学校で はなかなか学びにくいこと を)	地域講師としての参加	施設、道具、広報	こわす体験(おもちゃ工 房)もよいのでは。 地域 が(こわす)モノを提供
		体験的な学習の場、サイエンスラボ〜追求する場の設定(土・日の理科室、その他の施設)	講師の発掘、講 演会(年齢の近い 人を講師に)	場所の設定、広 報	
	④生活の中で役立つもの開発・発明コンテスト	生活の中でのちょっとした アイデアを具体化する を、夏休みの課題として 募集⇒応募作品・アイデ アの優秀なものを表彰⇒ 企業に働きかけて商品 化。			アプリ開発なども考えられる。特許出願することもあり。

項目	小見出し	取組み内容	住民でできること	支援が必要なこと	備考
	⑤職業体験 イベント(キッ ザニア、ミニミ ュンヘン・子 ども商店街の ような子ども 主体のイベン	やりたい職業体験⇒学校 や地域交流広場を会場 に職場体験できるような ブースを設置	様々な職種の 方々に応募しても らい実際に職業 体験をできるよう にする	多様な職種の人 たちの参加者募 集。場所の提供	子どもたちになかなか 見えにくいBtoBの仕事 を伝えていく インク等を製造してい る東海カーボンやゆた かフーズなどの企業に
	b)	職業体験"武豊キッザニア"	ボランティアを募 る。企業への依頼	なし	ブース出展してもらうよ うな機会もこれまで設
		職業体験"ジュニアリーダ 一にて"	会員を増やす	企業へのつなぎ	けたことがある。
		放課後子ども教室を子ど もチャレンジや子ども会議 の機会・場として活用 を!	地域での協力、 学校への協力要 請	_	
子どもまちづくり会議	①学年に応じたまちづくり学習(子どもまちづくり大きちづくり大べちが、調楽力・提案力を養うステップアップ講座	子どもまちづくり会議(小学1年生から中学生までの継続的なまちづくり学習) *小学1~3年:まちのことを知り・発見 *小学4~中学生:自分で考えて、実行	子どもたちからの 提案を前向きに 実行できるよう、 住民・企業・施設 でサポート(そういう 教育をしている ことを事前に住民 に理解してもら う)。	住民・企業・施設等の町全体でサポートしていけるよう周知、お願いする。学校との連携をとる。	
プロジェクト	②意見表明 (発表の場)	子どもまちづくり会議を小 中高で実施。 発表⇒実行	ジュニアリーダー にて実施	学校への協力要 請	行動宣言も行う。
	③今、住みた いまち、未来 を考え提案す る。	どんなまちにしたいのか、 今住みたいまちを考える 子どもまちづくり会議を開 催	子どもが企画・計 画していく。大人 は手助けが必要 なことだけを行う。		ファシリテータ養成講
		地域交流広場でどんなま ちになっておほしいか、ど ういう未来したいかを考え る	子どもの意見を尊 重する取組・場・ 機会の提供	学校や保育園へ の参加を募集。 場所を提供する。	座や会議の進め方講 座は行政で!
	①小4の壁突 破講座	再挑戦の場 学習におい てつまずきやすい小学4 年生からの学習支援、各 小学校の土曜日開放。	講師としての参加	助成等の制度の 発掘・紹介	ゆめたろう塾の小学生 版
15 年間の 子どもの学 び・育ち~ シームレス 教育~プロ ジェクト		自分を大切にできる、他 者を大切にできる「性教 育=生教育」	_	町が主体となって 性教育に取り組む	LGBTQも含めて
	②命の教育・ 性教育、自己 肯定感を育	LGBTQ,性教育による 命を大切にする学び	親子で学ぶ企画、当事者を呼ぶ	保~中学校まで つながりのあるプ ログラム、学習の 機会を保障	LGBTQが自殺の原 因となるケースも少なく ないこといから自殺予 防という観点からも必 要
	もを教育	様々な人と関わり、体験 を通した自己肯定感を育 む教育 *介護施設の訪問、職 業体験、外国人との交流 など多様な体験⇒自己 肯定感		受け入れる、お互 いを大切にする 声掛け	場や人を募る。親に対する教育の場

項目	小見出し	取組み内容	住民でできること	支援が必要なこと	備考
	③子どもによ る子どものた めの子ども食 堂運営	子ども食堂を子ども(当事 者)で運営する。	ボランティア、継 続したかかわり、 アプリ開設	情報共有、場の 提供	子どもを支援の対象として見るのでなく、子ども自身に我が事として 捉えてもらい、主体となって活動できる場として子ども食堂の運営に携わってもらう。
	④小中学校 のカリキュラ ム概要の見え る化・ガイダ ンス	教育内容、めざす姿を明確にしたい	子どもたち学んで いる内容を理解し て、できたことを ほめる!	教育内容の共 有、年・月でのメ ール配信	小中学校の学年・学期 ごとの教育内容、めざ す姿が伝わってこない ので、それをわかりや すく伝えてほしい。
	⑤地域・企業 等も参加した 学校運営	学校のオープン化	企業、住民(シニア)の(学校運営) 参加	町教育に専門の 窓口を作る	
	⑥学校内の 居場所づくり	学校内に居場所としての フリースクールをつくる	ボランティア、好 きなことを専門を 生かしてかかわる	専門家(相談ので きる人)の配置、 単位の認定	
	⑦こんな人に 育ってほしい を話す会の 開催	〈子どもたちが、中学校卒 業時にはこんな人になっ てほしい=中学卒業時の めざす人物像〉を話す機 会を設ける。		場の設定	
	⑧こんな人に なりたいの成 長記録(カル テというのは 重いので、子	〈こんな人になってみた い〉私の目標・成長		子どもの成長の継 続的な記録を幼 ⇒小⇒中へと持 ち上げていく仕 組。	
	ども自身の人物目標を掲げ、それを成長とともに継続的に受けついでいく仕組みづくり)	好きなことをみつける、み つけ続ける、捨てアップ できる"やりたいこと、なり たいことカルテ"	専門性のある人の協力	場所・人・お金	

【他のメンバーからのコメント】

	●将来を担う教育は大事
	●子どもの発想を大切にしてもらえる体験がいいですね。
	●チャレンジ文化祭の発想は良い。
	●子どもが主体的に考えることが大事!良いと思います。
賛同意見	●子どもが、町がどのようになってほしいと考えているか知りたい
	●将来町内に居住し残ることを期待
	●幼一小一中一貫した教育プログラム
	●地域と学校の連携、相互につながって相乗効果
	●学校がかかわることはとても大切
	■参加するこどもにどのように集まってもらうのか?子どもは忙しすぎなので。
	■なぜ文化にこだわるのか狭い意味での文化ではなく、文化の定義を拡げたイメージが
	よいのでは。
改善意見	■運営の母体は?
V	■企業との連携をどのようにするのか?
	■良い企業に参加してもらう仕組みが課題
	■主権者教育、政治教育に力を入れた方がよいと思う
	◆子どもチャレンジをもっと!
提案	◆子どもを守るシステム、また、子ども自身が自分を守る術を身に着ける場があるとよい
	と思います。いじめ、心、SNSなど

≪プロジェクト2 移住・交流促進プロジェクト≫

項目	小見出し	取組み内容	住民でできること	支援が必要なこと	備考
		友好県・地域交流	他地域へ出る	他地域との交流・留学	様々な交
交流促進	他県・他地域との	他国交流会	外国人との語学交 流	語学教室	流がある。
	交流	スポーツ交流	ボランティア受け入 れ	施設など	これらを横 につなげる
まちの魅力・ 良さ	楽しい集まりの場	顔がみえるつながりで、 安心できるまちづくり	あいさつ、声かけ	楽しく集まれる仕組み (リサイクルなど)	"安心でき るまち"はま ちの魅力の 一つ
	武豊町は情報発 信が下手 情報を横につな	情報を一貫・完結できる	結びつける、動線づくり	点在する施設、システ ム等ではなく、まとまっ た物	武豊町は 情報発信
	げる(情報が縦割 り)	ほどよい田舎 環境・ 仕事・交通アクセス	いい所である事をど うアピールできる	ゾーンMAP、アクセス MAP	が下手 武豊町の
	センター機能が ない(しくみが必 要)	職・遊び・スポーツの場と内容を詳細に紹介する	内容・よさをアピー ル コメントなど	マップ、SNSなど効率 のいい情報発信	弱点である。
		情報発信 インスタ映えスポット 有名人の発掘→コラボ	まちの良さを知る まちに興味をもつ	有名人との調整 →イベントなどに来ても らう 情報発信への協力を してもらう	
	大学やマスコミな どとコラボして情 報発信すべき	回覧板、広報新聞を詳しく広める		今現在、建築してい る、何が立つのかな? わからない	情報発信 の方法
情報発信	人を引きつける/ ウハウ、特徴づけ	新しい施設ができるの で、事前アピール強化	利用していく魅力発信	マスコミ利用、SNS利用、施設を利用したイベント開催	民の力を使っていく
		今ある施設の強化(イ ベント・関連施設)	やってほしいイベン ト、つくってほしい施 設を共有する	アクセス強化とゆくまで の歩道整備	
		ゆめたろうマラソンの 発展型?	認知症と特色		
	移住につながるきっかけ="遊び	移住につながる「遊びに来る場」を作る	遊休農地の開発→ 参加→収穫→販売	農地所有者との交渉 武豊インターの整備	
	場"、楽しめる場 武豊パーキング の再活用も	○○ワールドパークの ような (例)おきなわワールド 武豊の名物も	レジャーシートを広 げて遊べる場 試食ができて、ドリン クサービスも		
	移住につながる 「学びの場」 大学のサテライト	移住につながる「学び の場」を作る		例えば、知多半島にある日本福祉大学のサ テライトを武豊町にも 作る	
		優良住宅の価格をお 値打ちに	住みやすさを発信し ていく	防犯・災害などに対す る安全性のPR	
移住者の受け入れ策	住民発で地域情報を発信 空き家・空き地情報も	既存施設の利用条件 の緩和 (コミュニティをつくり、 全世代一緒に暮らす)	利用方法の提言	柔軟な発想と取組、リニューアル	岡山に先 進事のがある を を を を を を を を を を を を を を を を を を を

項目	小見出し	取組み内容	住民でできること	支援が必要なこと	備考
		古民家利用 空き地	地域便利情報発信 (グループ発信)	空き家情報などの発 信、町HP	
		空き家を活用した移住 政策			
	コンパクト 資源をつなげる	車がなくても暮らせる、 コンパクトなまちづくり	近くの資源を利用する意識を持つ 歩く(車をできるだけ使わない生活を 心がける)	交通手段(車のシェ ア、巡回バス)	
		ゆめころんのルートを 増やしたい	蛇ヶ谷にも停留所を 立てたい		
	移住体験ツアー	移住受け入れ整備	武豊町をより知ること (観光場所) 従業員紹介	移住体験ツアー	
	お試し居住	社宅の活用(空き部 屋)若い人向け	新たな人を受け入 れる雰囲気(イベン トや交流)	情報発信・企業との連携	
	移住につながる 「仕事の場」	移住につなげる「仕事 の場」を作る	例えば不足している 「介護人材」の育成	オリジナルの介護人材 育成学校又は誘致	
全世代型の 住宅都市づ くり	住宅都市に特化 していく 子ども、中年層、 高齢者層、みん なが暮らす住宅	ベッドタウン化する			

●交流モデルとして促進 ●情報発信の一元化は誰にでもわかりやすくなる ●情報発信の工夫を是非してほしい ●武豊PA再活用なってほしいなぁ ●調整区域の宅地化 ●空き家が業賛成です。 ●空き家の活用方法 ●空き家の活用方法 ●空き家の活用は有効な手段と感じました ●ふるさとワーキングホリテーの制度をぜひ活用してください。 ●おためし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ! その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。。 ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場 (ハード)には、理念 (ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? ■お試し居住する方のメリットをはっきりさせた方が良い	【他のメンバーからの	のコメント 】
 ●情報発信の工夫を是非してほしい ●武豊 P A 再活用なってほしいなぁ ●調整区域の宅地化 ●空き家対策賛成です″ ●空き家の活用方法 ●空き家の活用は有効な手段と感じました ●ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 ●おためし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ! その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		●交流モデルとして促進
 武豊 P A 再活用なってほしいなぁ 調整区域の宅地化 空き家が業賛成です″ 空き家の活用方法 空き家の活用は有効な手段と感じました ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 おためし居住はためしてみる価値がある お試しイイネ! その人たちに発信してもらう! 移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ アパートの多世代居住 全世代交流 まちづくり、すまい 場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する 情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		●情報発信の一元化は誰にでもわかりやすくなる
 ●調整区域の宅地化 ●空き家対策賛成です″ ●空き家の活用方法 ●空き家の活用は有効な手段と感じました ●ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 ●おだめし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		●情報発信の工夫を是非してほしい
 ●調整区域の宅地化 ●空き家対策賛成です″ ●空き家の活用方法 ●空き家の活用は有効な手段と感じました ●ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 ●おだめし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		●武豊PA再活用なってほしいなぁ
 ●空き家の活用方法 ●空き家の活用は有効な手段と感じました ●ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 ●おためし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		●調整区域の宅地化
 ●空き家の活用方法 ●空き家の活用は有効な手段と感じました ●ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 ●おためし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		●空き家対策賛成です [″]
●ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 ●おためし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。" ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?		
●ふるさとワーキングホリデーの制度をぜひ活用してください。 ●おためし居住はためしてみる価値がある ●お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。" ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?	***	●空き家の活用は有効な手段と感じました
 おためし居住はためしてみる価値がある お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! 移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ アパートの多世代居住 全世代交流 まちづくり、すまい 場 (ハード)には、理念 (ソフト)がなければ形骸化する 情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 	資问 息見	
 ●お試しイイネ!その人たちに発信してもらう! ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		
 ●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」⇒具体性がみえていい。 ●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。″ ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		
●全世代型の居住は助け合いもできるし、子どもにも良い影響があると思う。 ●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。" ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?		●移住につながる「学びの場」「仕事の場」「お試し居住」 ⇒具体性がみえていい。
●シニア世代も活躍できると思うし、生きがいもみつかるかも。" ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?		
 ●アパートの多世代居住 ●全世代交流 まちづくり、すまい ■場 (ハード)には、理念 (ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか? 		
●全世代交流 まちづくり、すまい ■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?		
■場(ハード)には、理念(ソフト)がなければ形骸化する ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?		
改善意見 ■情報発信って、伝えたいことがなければ意味がないのでは? ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?		
収音息見 ■マスコミ、テレビを呼んで取り上げてもらうには、どうしましょうか?		
	改善意見	

≪プロジェクト3 新たな特産品開発プロジェクト≫

項目	小見出し	取組み内容	住民でできること	支援が必要なこと	備考
	武豊たくわん(戦前 ~戦後に大々的に 取り組んでいた)、知 多牛、みかん(みは まっこの3割が武豊 産)、みそ・たまり	ふるさと納税の魅力的 な返礼品の開発(マル ちゃんとコラボして、み そ・たまりを使った高級 ラーメン、みそスイーツ づくり)	住民にアンケートを実施	アンケートの配 布・回収	
武豊で何が 有名な特 産?	知多牛とみそを合わ せた肉みそ標品づく り	「知多牛+みそ=肉みそ」の新たな商品開発	事業者に文化、 商品の開発の聞 き取りを行う	既にノウハウを持 っている所に商品 化をお願いする	
	特産品の掘り起こし	現状の特産品の掘り起 こし		町民のPRの場の 提供(例:イベント 開催)	
	武豊の魅力意識調 査の実施	武豊と言ったらコレ!と いう物を抽出	住民が思っている 武豊の魅力と は?	アンケート調査	
	一過性にならない販売に向けPR	町独自の特産品の創 出	自ら利用し、知人 等へのPR	連続的なPR活 動	みそたろう(キャ ラクター)を使っ たパッケージ、 商品化を!
		他の物産をほめる取組 み。ケーキ屋が	SNSで発信し、 若者に巡ってもら う	冊子やホームペ ージを作る	
	お店、商品のPR・リ ツイートの実施	個々の商品のPR(中定商店の宝山みそはブルータスに掲載された。丸又商店オーガニックたまりは海外でも人気(ジョコビッチなど)		雑誌、メディアに 掲載されたものを ホームページやツ イッターでリンク	
販売・PRの 支援	町民全体で栽培・購 入・PRを実施!	原材料として大豆の小 規模生産	趣味として栽培 し、「自分の作っ た大豆がみそ・た まりに!」	栽培ごよみのP R・周知	町民みんなで大 豆づくり
	ユーチューブでの番 組制作	特産品を使った料理 番組を作る(ユーチュ ーブなどで)	町内の料理教室 などに協力しても らう		
	住民がまずは買っ	まず、現在のみそ・たま りの味を知る、体に染 みわたらせる	普段から使う調味 料として使って食 べる		
	て、使って、食べてみる	町内のスーパーで武 豊の特産コーナーを作 ってもらう(レシピも置い てみる)	家庭の料理でも 一度は使ってみ る。ちょっとしたお 土産に買ってみ る。	町の物産を買え る所をまとめた冊 子やHPを作る	
	まちの駅(味の蔵) の活用	まちの駅での販売・PR		広報でPR	
	町外での販売場所を増やす	販売場所の増加(知多 半島道路のパーキン グの物販所) 名古屋市役所食堂ジ ャック! 定食を武豊産	材料、人	行政間連携で橋 渡し	

項目	小見出し	取組み内容	住民でできるこ と	支援が必要なこと	備考
		品で(味噌汁だけで も)。そしてPR・販売			
	まちのPR	ミニバラのまち武豊な どのネーミングの作成	看板の設置	テレビCM、ラジ オCM、パンフレ ット、インターネッ トでのPR	
		B1グルメの推進			
	イベントの開催	半田市とイベントを行う (半武イベントの再開)	SNSTPR	半田市へ声をか ける	
事業者の開 発意欲の向 上	観光(見る・食べる・ 体験)で盛り上がり、 ビジネスチャンスが あると思わせること が大事	各事業者に対して商 品開発の聞き取りを行 う			
T.	儲かるモデルづくり	儲ける、儲かる就農モ デルの確立	地元産品を買う	技術指導(若者へも、シニアへも)	行政、商工会、J Aによる総合的 な支援
	異業種交流から異 業種集団の組織化	「異業種集団づくり」を 町と商工会で取り組む		会合への予算化	
組織づくり	民間と行政の両輪 で、専門家やリーダ ーの育成、観光課 の設置	観光の取組み強化		観光課の設置	
	学生や女性の組織 化	学生や女性などターゲットを絞った組織づくり			
その他	スーパー銭湯の誘 致、味の蔵に足湯の 整備				

【他のメンバーからの	のコメント】
	●工業製品、化学製品等もPRする。
	●食事付きサロンにつなげてもいいと思った。
	●商品については武豊で食べられるものと武豊の特産として外に手土産で持っていける
	物があると良い
	●住民の地域愛の再認識が必要
	●全国に向けてのPR方法を色々と試してほしい。情報発信に力を入れる。
	●SNSの積極的な活用
賛同意見	●PRは重要。やり方の工夫が難しい
貝미尼尤	●情報発信のプロを集めたチームを作れるといい(移住のチームでも話が出た)
	●PRは大切
	●興味を持ってもらうことは大切
	●開発者の意欲向上が一番大切だと思う
	●儲かる商品づくり
	●是非特産品の開発を実現するために開発リーダーを確保してください
	●地産地消観光課の考え方が良い
	●観光課いいね!町民からもPR上手な人を入れて
	■特産品と言うには知名度が低い
	■食品以外に売りとなるようなものとがあると?
	■食べ物に縛られなくてもよいのでは・
	■相当大変で、画期的なPR方法と併せて工夫がいる
_, ,,	■ユーチューブの使い方教室をやってみては
改善意見	■住民が使いたいとより思えるにはどうしたらいいのか?
	■行政と業者のコラボはキーになると思う
	■早期にリーダーの養成
	■観光課ができても特産品だけがあっても難しい
	■専門知識は必要であり、専門家やリーダーの養成を
	■人が集まり、行きたくなるスーパー銭湯を!
提案	◆電気のまち、ガラスのまち、薬のまちでもある。
).C	◆ユーチューブ等の情報発信講座の実施

≪プロジェクト4 シニア活躍プロジェクト≫

	食事付きサロン運営事業
事業テーマ	食べて、飲んで、しゃべろう
目的•効果	●地産地消●郷土料理の伝承●子どもと高齢者の交流●子どもの見守り(高齢者の活躍)
取組み内容	食事ができるサロン・カフェ+酒 地域住民が日替わり(週替わり)で料理を出す(カフェ・レストラン) 少しディープな夜のサロン(お酒、麻雀、社交場・・・) 誰でも参加できるサロン・カフェ(子ども、親) 保育園児の訪問 公園、広場等で季節ごとの催し事を行う(花見、そうめん流し、餅つき、焼き芋) 年齢、性別、国籍等に関わらず、誰でも集まれる場の提供⇒運営方法、人集め・・・課題が沢山 健康教室(食事、飲酒指導) 食事代は徴収
住民でできること	企業、住民に食材の提供を呼び掛ける⇒食品ロス対策に
実施主体	住民グループ(老人会、自治会など) サポートとしてCSW(コミュニティソーシャルワーカー)の配置(CSWの配置として、地域資源の開発、促しを行うコーディネーター 食育健康づくりグループ
行政の役割	事業費補助 CSWの派遣 事業の仕組みづくり(既存のサロン事業のスキームでは限界) 地域福祉をまとめる役割が重要
課題	設備 衛生管理(保健所の許可) 食中毒対策(ボランティア保険で対応可)

【他のメンバーからのコメント】

【他のメンハーから	いコメント 】
賛同意見	●「移住・交流チーム」で空き家活用とか全世代型(CCRC)の話が出たので、それとあわせて考えるといいかも ●子どもが参加できるサロンはいいと思う。多世代参加に目を向けた「子ども×高齢者」 ●・シニア世代のみでなく、親子参加いいね ●シニア世代と若い世代を結びつける取組みが良いと思う" ●地元食材の魅力につながる ●人が集う場になる ●食品ロス減(家庭菜園から)
改善意見	■参加者が作る食事のコンテストなどもあると良いかも ■レシピを渡して家でそれぞれがお弁当を作る?発注する?のもいいかも。みんなで作るとか。" ■将来的には子どもと一緒に活動できる場になってほしい ■武豊町の名物とかをアピール ■○○運動アピール" ■参加費ってどのくらい? ■地区もいいが、中央公民館あたりでやれば多世代が来やすい。設備もある。 ■どの地区でやると成果が出るかを検討できると良い(地域差があるので)" ■CSWって誰でもなれる?専門家? ■CSWは誰がやる?(専門家の人はいるのか?)" ■送迎システムもあれば ■ゆめたとう、ゆめころんの停留所を増やしたい" ■食中毒の保険は大丈夫?
提案	◆レシピの配布、コンテスト、参加者各家庭の料理提供 ◆高齢者と親子が参加 ◆地元の食材の魅力、名物のアピール ◆人が集まる場、全世代が活躍する場 ◆モデル地区をどこに ◆移動手段の確保